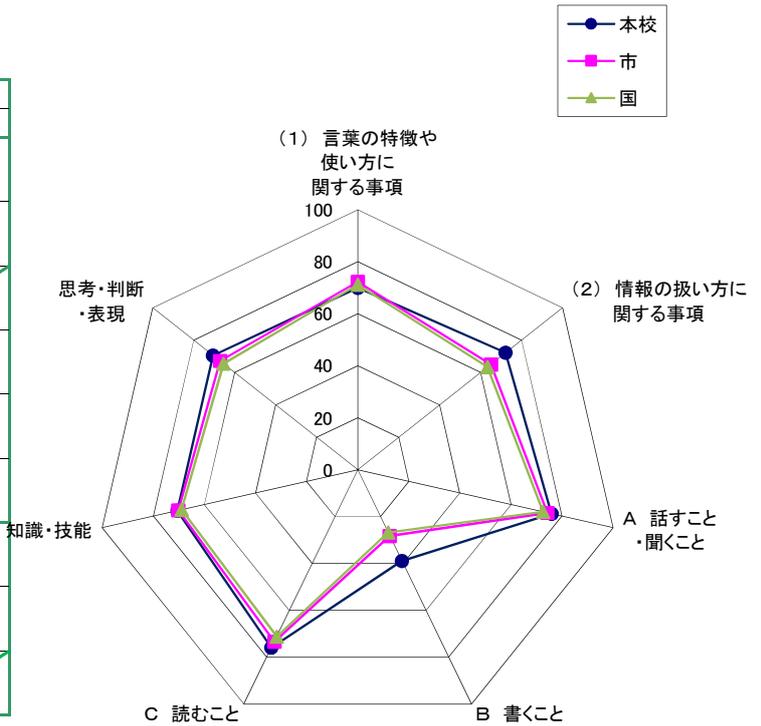


# 宇都宮市立瑞穂野北小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	70.0	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	72.2	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	75.9	74.2	72.6
	B 書くこと	38.9	28.2	26.7
	C 読むこと	75.9	73.3	71.2
観点	知識・技能	70.6	70.2	68.9
	思考・判断・表現	70.6	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、全国平均よりやや低い。 ○既習漢字の書きはよくできている。 ●漢字に変換するときの同音異義語の理解に課題が見られる。	・瑞穂野地区学校園で作成している「漢字ミニマム」を活用し、前学年までの漢字に繰り返し取り組み、定着を図る。 ・同音異義語について、授業や生活の中で意図的に取り上げ、理解を図る。
(2) 情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、全国平均より高い。 ○原因と結果など、情報と情報の関係について理解している。 ●情報と情報の関係付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題が見られる。	・授業の中で、文章の中からキーワードを取り上げて線を引き、意見の根拠となる言葉を明確にする等、情報を整理して相手に伝える活動を取り入れる。 ・主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係に加え、文の書き出しと文末表現の関係などを含めた、文の中の語句と語句との係り方について丁寧に確認して理解を図る。
A 話すこと・聞くこと	平均正答率は、全国平均より高い。 ○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができている。 ●目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られる。	・話し手の意図を考えながら聞き、自分の意見と比べるなどして、考えをまとめ発表するような学習活動を展開する。 ・思考に関わる語句の量を増やし、複数の情報を比べたり、原因と結果の関係について述べる場面を、意図的に学習活動に取り入れる。
B 書くこと	平均正答率は、全国平均より高い。 ●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られる。	・授業の中で、事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする活動を取り入れる。また、各教科等において学習や活動の振り返りで書く活動を重視する。その際には、根拠を明確にすることを意識づける。また、条件を満たして書かせる活動も取り入れていく。
C 読むこと	平均正答率は、全国平均より高い。 ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することはよくできている。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がみられる。	・複数の資料を読み取って分かったことをまとめ、さらにそこから考察し自分の意見をまとめるという活動を、学習活動の中に取り入れる。